ニュータウンにおけるあそびの実態と印象に関する調査研究

勝本 俊太 ※
Shunta KATSUMOTO

本研究では港北ニュータウンの荏田南・荏田東地区を対象とし , こどものあそびの変化 , また住民にとってあそびの様子がどのような意味を持っているかを明らかにすることを試みる . ヒアリング調査により大学生以上の住民と , 小学生の 2 世代のあそびの実態を把握し , あそびの様子に対して住民が抱く印象を把握することを目的とした . その結果 , 世代間であそびに変化や共通点が生まれる空間的要因や社会的要因 , またそのようなあそびの様子を人々が見る上で , 特に印象に残っているあそびがどのようなものであるかを明らかにした .

Key Words : あそび　港北ニュータウン　空間的要因　社会的要因

1. 研究の背景と目的

あそびを取り巻く環境は , 時代とともに変化している . 大規模な住宅地開発にともなって公園緑地の整備が行われた郊外型ニュータウンでは , 完成当時は各公園にそれぞれ固有の遊具が整備されていたが , それらは安全性や維持管理の問題から , 既成のどこにでもあるものに置き換えられてしまっている .

また , 研究で対象とする港北ニュータウンは , もともとの地形や緑地を残した開発が行われ , 街の中に豊富にある自然は , 一見こどもにとって良いあそび環境であるかのように思える . しかしこれらの緑地には街灯があまりない上 , 一般の道路からは見えづらい位置にあり , 夜間は人通りが少ないことから不審者が出没したり , 凶悪な事件が起きてしまっている . このようにニュータウンにおいても , 環境の変化や社会的な要因に影響され , こどものあそびが変化していると考えられる .

居住地域でこどもがあそんでいる様子は , 生活の中で住民に何らかの印象を与えていると考えられる . その中で , どのようなあそびが特に印象に残り , またあそびの変化からどのようなことを感じているかを把握することは , 住民にとってあそびの様子がどのような意味を持っているかを考える上で有効である .

そこで本研究では , 現在と過去のあそびの実態を把握した上で , ①住民にとってどのようなあそびの様子が印象に残っているか , ②あそびの様子からどのようなことを感じているかをとらえることにより , こどものあそんでいる様子が住民によってどのようにとらえられているかを明らかにすることを目的とする .

2. 研究の概要

(1) 既往研究と本研究の位置づけ

こどものあそびに関する既往研究には , 地域の空間的変容・社会的変容を把握し , 人々の中にあそび場としての水辺への愛着がどのように形成されるかを把握しようとした研究 [1], 大人にとってのあそびの原風景や , あそびの環境を取り扱った仙田の一連の研究 [2] や , ニュータウンにおけるこどもの屋外活動と地域環境との関係性をあきらかにした研究 [3] などがある . しかしこれらはどれも現在あそんでいるこども , または過去に行っていた大人に焦点を当てているものであり , あそびの実態を把握するとともに , 居住地域におけるあそびの様子が住民にどのように認識されているかを把握しようとした研究はまだなく , 本研究はその点に特徴があると言える .

(2) 研究の方法

研究の方法としてはまず , 港北ニュータウンの荏田南・荏田東地区にある小学校出身の大学生以上の住民が小学生の頃にあそんでいた場所と , 現在小学校に通っている住民があそんでいる場所をヒアリングにより抽出し , 各世代でのあそびの実態を把握する .

その後 , こどもがあそんでいる風景に対し , 住民がどのような印象を受けているかをヒアリング調査により把握する . 様々な場所ごとに 2 つの調査の結果を照らし合わせ , 各公園の空間構成や遊具の変遷などの空間的な変化や , 小学生人口の変化や対象地内で起こった事件などの社会的要因との関係から考察することによって , ニュータウンにおけるあそびを , 実態と住民の印象という 2 つの側面からとらえることを試みる .

(3) 対象地の概要

(a) 港北ニュータウンの概要

横浜市北部の都筑区に位置する港北ニュータウンは ,1965 年に横浜市から発表された横浜市六大事業のうちの一つであり , その事業面積は 25.3km^2 である . なだらかな丘の多い農村地帯であったこの地域は , 昭和 40 年代になると住宅地の乱開発が起こり , その対策としてニュータウン事業が行われることとなった .1974 年に着工し 1996 年に計画自体は完了したが , 現在でもマンションや

※早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 景観・デザイン研究室 4 年

商業施設が次々と開発され続けている．

港北ニュータウンの中心である，横浜市営地下鉄線センター北・センター南駅周辺には大規模な商業施設が多く立ち並んでいるが，駅から少し離れた場所になると大小様々な公園や，緑地が見られる．港北ニュータウンの計画段階における 4 つのまちづくり方針の中に「" ふるさと " をしのばせるまちづくり」，「緑の環境を最大限に保存するまちづくり」があり，これにより公園や緑道で構成されたグリーンマトリックスと呼ばれる緑地が存在し，またそれらは平坦な場所だけではなく，丘陵地など元の地形に沿って作られている．多くの緑道は谷の部分に作られており，周囲を樹木が囲んでいるため，一般の道路や建物からは見えにくくなっている．

図 2.1：横浜市都筑区の位置

図 2.2：港北 NT の事業範囲

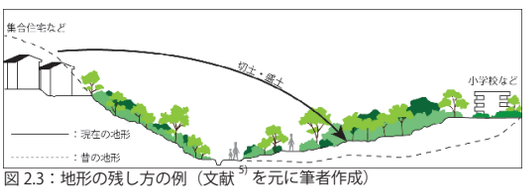

図 2.3：地形の残し方の例（文献 [5] を元に筆者作成）

(b) 荏田南・荏田東地区の概要

本研究は港北ニュータウンの西部にある，荏田南小学校，荏田東第一小学校，つづきの丘小学校の学区である荏田南・荏田東地区を対象地とする．センター南駅から徒歩 5 分～ 20 分ほどの範囲にあるこの地区内には折田不動公園や鴨池公園，ささぶねの道などグリーンマトリックスの一部である公園や緑道の他に，もも公園やさくら公園などの小・中規模の公園や，かもいけランドという屋内施設，広場を有する商店街など，様々な種類・規模のあそび場が高密度に存在する．このことから，こどもたちは自分の行動圏内で自由にあそび場を選ぶことができる地区であると考えられる．この地区では，ニュータウン計画の初期から現在にまで宅地の開発が連続的に行われており，環境の変化が見られることから，こどものあそびを把握し，それらの変化や，あそびの様子が住民にどのように認識されているかを把握する上で適している地域であると言える．

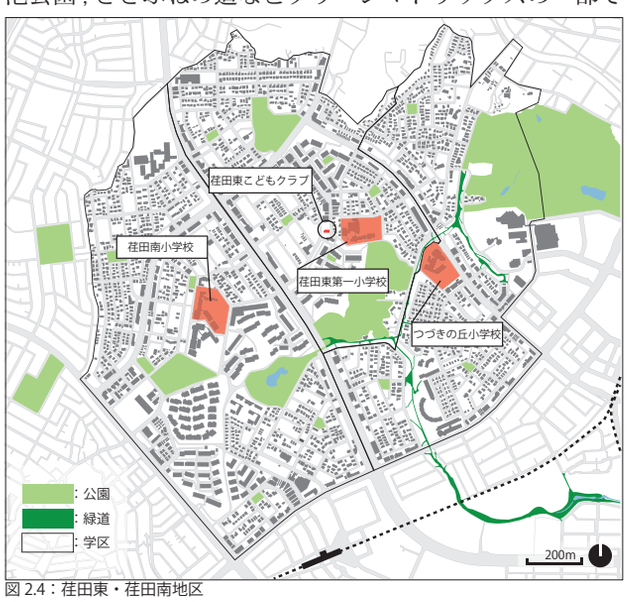

図 2.4：荏田東・荏田南地区

(c) 空間的変化

・公園の遊具の変化

対象地内のほぼ全ての公園で，完成当時から劣化，安全性の問題などから遊具の撤去・置き換えが行われた．例えばみのり公園では，図に示すように複合遊具が置き換えられ，樹木が減り，舗装も変化している．

図 2.5 過去のみのり公園 (都筑区役所提供)

図 2.6 現在のみのり公園

(d) 社会的変化・出来事

・対象地内の緑地で起こった事件

対象地内の公園および緑地で起こった事件を表 2.1 にまとめる．

表 2.1 起こった事件の概要

場所	発生年月	事件概要
折田不動公園	2001/9	公園内に落ちていた袋から乳児の遺体が発見された．
鴨池公園	2005/8	鴨池公園付近の緑道で台風の日に女性が殺害され遺体で発見された．現在でも犯人は捕まっておらず，情報提供を求める看板がセンター南駅構内や，遺体発見現場に設置されている．

・児童数の推移

6 才～ 12 才の人口を小学生人口とし，各小学校区における小学生人口の推移を図 2.7 にまとめる．

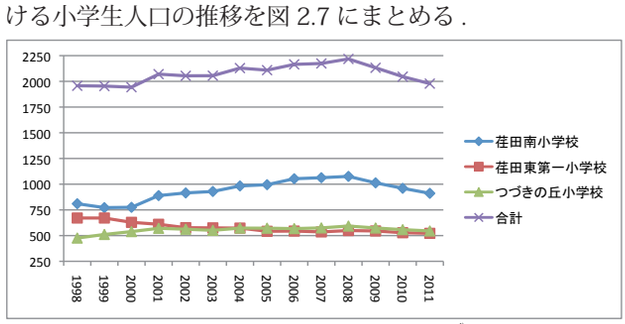

図 2.7 各学区の小学生人口の推移（私立小学生も含む 都筑区 HP[4] のデータより作成）

3. ヒアリング調査

(1) あそびの実態調査

(a) 調査の概要

あそびの実態を把握するために行ったヒアリング調査の概要を，表 3.1 ～表 3.4 にまとめる．小学生に対しては，

はじめからヒアリングのみを行った場合 , とっさには普段のことを思い出せず十分な情報量が得られないと考えられたため , 質問 1 ～ 6 に関しては事前にアンケートとして配布し , 自宅で記入してもらったものを参考にしながら行った . なお , 小学生の調査対象者を得るにあたって , 荏田東こどもクラブという学童保育施設に協力を依頼した .

表 3.1：ヒアリング調査の概要

日程	2011 年 11 月 8 日～ 11 月 29 日
被験者	港北 NT に住む大学生以上の住民 9 名 港北 NT に住む小学生 11 名
調査方法	ヒアリング調査
実施時間	大学生以上の住民：30 分～ 45 分 小学生 15 分～ 20 分 ×2 回

表 3.2：質問事項

	小学生	大学生以上
1	普段よくあそんでいる場所はどこですか	小学生の頃よくあそんでいた場所はどこですか
2	その場所でのあそびの内容はなんですか	その場所でのあそびの内容はなんですか
3	誰とあそんでいますか	誰とあそんでいましたか
4	その中で特に気に入っている場所はどこですか	特に印象に残っているあそび場はどこですか
5	特に気に入っている理由はなんですか	なぜ特に印象に残っているのですか
6	行く場所やあそびの内容などを保護者に行動を規制されたことはありますか	行く場所やあそびの内容などを保護者に行動を規制されたことはありますか
7	自分からあまり行かないようにしている場所はありますか	自分からあまり行かないようにしていた場所はありますか

表 3.3 調査対象者属性（小学生）

ID	年齢	性別	住所	在籍小学校	居住年数
A	9	男性	荏田東 1 丁目	つづきの丘	6 ～ 10 年
B	10	男性	荏田東 1 丁目	つづきの丘	6 ～ 10 年
C	10	男性	荏田東 3 丁目	つづきの丘	6 ～ 10 年
D	10	男性	荏田東 4 丁目	つづきの丘	0 ～ 5 年
E	9	女性	荏田南 5 丁目	荏田東第一	0 ～ 5 年
F	10	男性	荏田南 1 丁目	荏田南	0 ～ 5 年
G	10	女性	荏田南 3 丁目	荏田南	6 ～ 10 年
H	11	女性	荏田南 3 丁目	荏田南	6 ～ 10 年
I	10	女性	大丸	荏田南	6 ～ 10 年
J	10	男性	大丸	荏田南	6 ～ 10 年
K	11	男性	大丸	荏田南	6 ～ 10 年

表 3.4 調査対象者属性（大学生以上）

ID	年齢	性別	住所（当時）	出身小学校	居住年数
L	19	女性	荏田東 1 丁目	つづきの丘	16 ～ 20 年
M	19	女性	荏田東 2 丁目	つづきの丘	16 ～ 20 年
N	22	男性	荏田東 2 丁目	荏田東第一 →つづきの丘[注1]	16 ～ 20 年
O	23	男性	荏田東 3 丁目	荏田東第一	21 ～ 25 年
P	23	男性	荏田東 3 丁目	荏田東第一	21 ～ 25 年
Q	23	男性	荏田南 1 丁目	荏田南	16 ～ 20 年
R	25	男性	荏田南 4 丁目	荏田東第一	21 ～ 25 年
S	19	女性	荏田南 5 丁目	荏田東第一	6 ～ 10 年
T	18	女性	大丸	荏田南	11 ～ 15 年

(b) 調査結果

ヒアリング調査の結果を表 3.5 ～表 3.6 および図 3.1 ～図 3.4 にまとめる . あそびの分類は仙田が用いた分類 [2] に「ボールあそび」を加え , それに当てはまらないものなどを「その他」として行った .

挙げられたあそび場は , 平均すると大学生以上の住民が 2.67 ヶ所 / 人であるのに対し , 小学生は 1.82 ヶ所 / 人 , あそびの数は大学生以上が 8.55 種類 / 人であるのに対し , 小学生は 3.54 種類 / 人とどちらも減少しており , 特にあそびの種類は大幅に減っているということがわかる . また , 図 3.3 および図 3.4 に示すように , 大学生以上の住民はあそびの種類があまり偏っていないのに対し , 小学生はおにごっこやかくれんぼなどの集団ゲームあそびや , キャッチボールやサッカーなどのボールあそびに偏っているということがわかる .

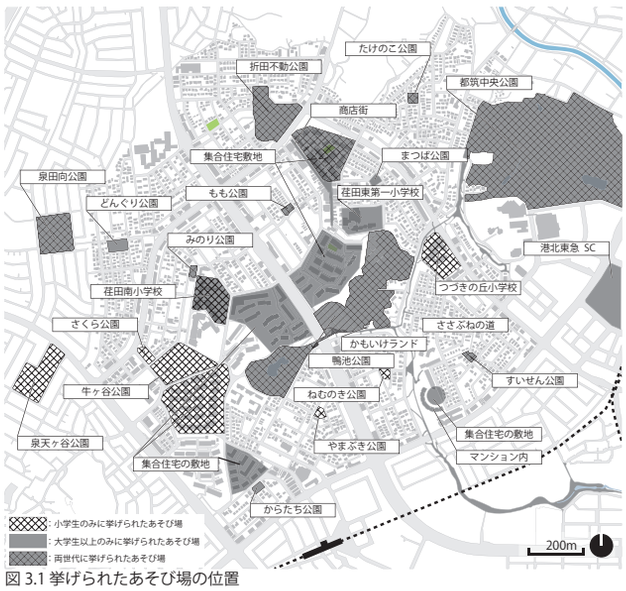

図 3.1 挙げられたあそび場の位置

表 3.5 挙げられたあそび場の分類

分類	場所
総合公園	都筑中央公園
地区公園	鴨池公園
地域公園	折田不動公園 牛ヶ谷公園 泉田向公園 泉天ヶ谷公園
街区公園	どんぐり公園 さくら公園 みのり公園 やまぶき公園 もも公園　まつば公園 たけのこ公園 すいせん公園 ねむのき公園 からたち公園
緑道	ささぶねの道
集合住宅敷地	かしの木台ハイツ みずきが丘住宅 けやきが丘住宅 グランノア港北の丘 藤和ライブタウン アークガーデンひびきの街
学校	荏田南小学校 荏田東第一小学校 つづきの丘小学校
屋内施設	かもいけランド
街路	公園の周りの道 家の前の道 商店街
その他	空き地 マンション内 港北東急ショッピングセンター

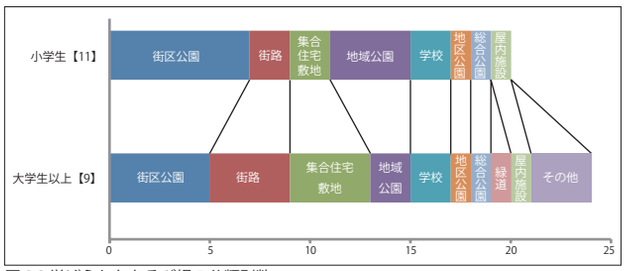

図 3.2 挙げられたあそび場の分類別数

表 3.6 挙げられたあそびの分類（【】内はそのあそびをしていた人数を示す）

分類	あそび（小学生）	あそび（大学生以上）
集団ゲームあそび	おにごっこ【10】ポコペン【3】かくれんぼ【5】色おに【2】高おに【1】ボールおに【1】	缶けり【4】おにごっこ【2】氷おに【2】けいどろ【2】サバイバルゲーム【2】だるまさんが転んだ【1】隠れおに【1】高おに【1】色おに【1】かくれんぼ【1】
ボールあそび	野球【6】サッカー【3】	野球【5】サッカー【4】ドッヂボール【2】その他【1】バスケットボール【1】
おもちゃあそび	カードゲーム【1】	携帯ゲーム機【2】カードゲーム【2】フリスビー【2】ヨーヨー【1】ミニ四駆【1】なわとび【1】
乗り物あそび		ローラーブレード【3】キックボード【1】自転車【1】そり【1】スケートボード【1】一輪車【1】
生物あそび		昆虫採集【2】ザリガニ釣り【2】釣り【1】草つみ【1】木の実採集【1】
遊具あそび	ブランコ、すべり台など【3】	ブランコ、すべり台など【5】
造形あそび		どろあそび【2】すなあそび【1】絵描き【1】
模倣あそび	家族ごっこ【2】	探検ごっこ【1】会社ごっこ【1】
その他	木登り【1】	買い物【3】おしゃべり【3】雪あそび【2】秘密基地づくり【2】かけっこ【1】木登り【1】

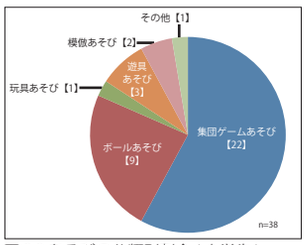

図 3.3 あそびの分類別割合 (小学生)

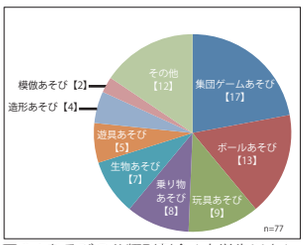

図 3.4 あそびの分類別割合 (大学生以上)

(2) あそびの様子が人々に与える印象

(a) 調査の概要

居住（勤務）地域でこどもがあそんでいる様子が , 住民にどのような印象を与えているかを把握するため , ヒアリング調査を行った . 調査対象者は , あそびの実態調査を行った際にヒアリングを行った大学生以上の住民（荏田東・荏田南地区であそんだ経験のある調査対象者）と , 荏田南近隣センター商店街の店舗に勤めている大人 , および商店街や公園周辺で散歩をしている大人（あそんだ経験のない調査対象者）とした . 調査の概要を表 3.7 ～表 3.9 にまとめる .

表 3.7：ヒアリング調査概要

日程	2011 年 12 月 26 日～ 2012 年 1 月 9 日
調査対象者	港北 NT に住む大学生以上の住民 荏田南近隣商店街に勤める大人 商店街や公園周辺を散歩している大人
調査方法	ヒアリング調査
実施時間	10 分～ 45 分
質問	①小学生くらいのこどものあそびに変化を感じますか ②こどもたちがあそんでいる様子を見てどのような印象を受けますか , どのようなことを感じますか

表 3.8：調査対象者（あそび経験あり）

ID	年齢	性別	居住年数	職業
L	19	女性	16 ～ 20 年	学生
M	19	女性	16 ～ 20 年	学生
N	22	男性	16 ～ 20 年	学生
O	23	男性	21 ～ 25 年	学生
P	23	男性	21 ～ 25 年	保育施設
Q	23	男性	16 ～ 20 年	学生
R	25	男性	21 ～ 25 年	アルバイト
S	19	女性	6 ～ 10 年	学生
T	18	女性	11 ～ 15 年	学生

表 3.9：調査対象者（あそび経験なし）

ID	年齢	性別	居住 (勤務) 歴	職業
a	30 代	男性	0 ～ 5 年	自営業
b	60 代	男性	0 ～ 5 年	清掃員
c	50 代	男性	0 ～ 5 年	自営業 / 卸業
d	40 代	女性	11 ～ 15 年	保育施設
e	60 代	男性	11 ～ 15 年	自営業
f	60 代	男性	11 ～ 15 年	定年退職
g	50 代	女性	16 ～ 20 年	保育施設
h	60 代	女性	16 ～ 20 年	自営業
i	40 代	女性	21 ～ 25 年	保育施設
j	50 代	女性	25 年以上	自営業
k	50 代	女性	25 年以上	自営業
l	50 代	女性	25 年以上	保育施設

(b) 調査結果

ヒアリング調査で得られたあそびの様子に対する印象を単純集計し , 表 3.10 および図 3.5 にまとめる .

発言の内容を見てみると , あそびの様子を見たときに , 自分が今の場所に住み（勤め）始めてから何かしらの変化を感じるといった発言が最も多く見られた . 自身の思い出や過去の行為を振り返るという発言は , 過去に荏田南・荏田東地区であそんだ経験のある大学生以上の住民にのみ見られた . それに対し , 街に対する評価に関する発言をしているのはあそんだ経験のない調査対象者のみであり , 属性による発言内容に差が見られた .

4. 場所ごとに見た結果の考察

ヒアリング調査で得られた結果について , 挙げられたあそび場ごとに , 空間的要因や社会的要因と , あそび内容およびあそびの様子から受ける印象の関係性を考察する .

表 3.10 あそびの様子に対する印象の例

発言の種類	ID	発言
変化	N	昔は秘密基地とか作って , ゴミ袋とか吊るしたりしてたんですけど , 苦情が来たりしてましたけど . 今は見ないですね .
	Q	俺らのときみたいに結構大人数であそんでるのはあんまり見ないね . 多くても 4 人くらい .
	c	広場行くんだけど , まあ一人か二人しか凧揚げしてない , 昔はもうみんなして凧揚げしたってのがあるんだけど .
	k	こどもが変化しているっていうよりも , 周りの変化が大きいのかなあ .
疑問・不満	P	外出てゲームかよって思っちゃう .
	R	もっとバカやって！って思うよね .
	g	ゲーム機なんかはさ , 外でやってなにがおもろいんだって思うけど .
	i	親がこどもに向かってない , それがすごく気になる .
思い出・振り返り	N	やってるなあ , こんな感じだったんだ俺もって感じですね .
	O	自分もこういうことしてたなあって思う .
	P	せせらぎでざりがに釣ってるのとかみると , ああ , 懐かしいって .
	Q	一番思うのは , あの頃は何も考えなくてよかったってことだね .
街に対する評価	c	（公園が）細かく多すぎだよね .
	f	車道と歩道がきちっと , まあ公園とかね , 分離されてるんでね , とても安心して（見ていられる）.
	i	（緑道が）せっかくのあそび場なんだけど , 一人で行っちゃダメよって言わなきゃいけない作り方はちょっとあれかなって .
	g	こどもを中心に考えてないの , まちづくりも . 大人がほらね , 遊歩道とか , 大人を中心に考えるから .
感情・印象	L	のどかな光景だなっていう印象 .
	N	あそんでる子たちをみると結構安心するってのはありますね .
	d	（こどもがあそんでいる）声を聞くと , まちが生きてる感じがする .
	e	うれしいよね , こっちが元気をもらうっていうか .

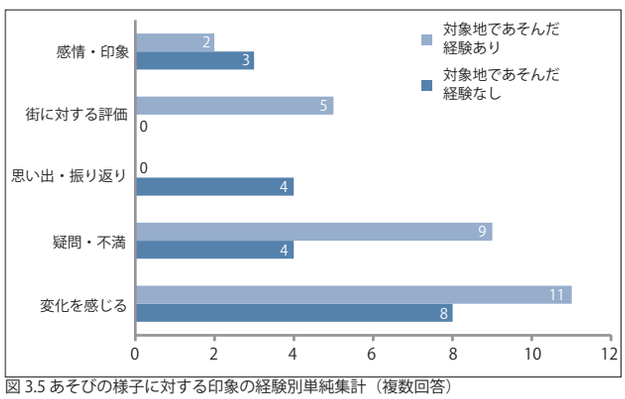

図 3.5 あそびの様子に対する印象の経験別単純集計（複数回答）

(1) 街区公園でのあそび

街区公園の一つであるまつば公園に着目する . この公園は大きな階段 , 遊具スペース , オープンスペース , 樹木の生えた斜面で構成されている . かつては木製の滑り台や , 筒型の遊具などが置かれていたが , 現在では金属製の滑り台や , 動物型の遊具に置き換えられている . また , 周囲の樹木が半分ほど伐採されたこともあり , 調査対象者 O の発言にも見られるように印象がかなり変化している .

(a) あそびの実態に関する考察

大学生以上の住民 4 名が小学生の頃にあそんでいた場所としてまつば公園を挙げており , 大きな階段を利用して行うボールあそびや , 遊具や樹木によって作られた隠れられるスペースを利用した缶けりなどのあそびが見られた . なお , 現在の小学生ではあそび場として挙げている被験者はいなかった . 調査対象者 D の発言から , 近くに住んでいても , そこが荏田東第一小学校の生徒ではない場合 , まつば公園を利用していないということが考えられる .

(b) あそびの様子が与える印象に関する考察

あそびの様子が与える印象の調査では , あそびの内容はあまり変わっていないこと , あそんでいるこどもの数が減

表 4.1 まつば公園でのあそびや発言

所在地		荏田東 3 丁目
面積		1,200m²
空間的変化		遊具の置き換え 樹木の伐採
あそび（小学生）		あそび場として挙げた被験者なし
あそび（大学生以上）		遊具あそび フリスビー キャッチボール サッカー 自転車あそび 缶けり
発言	D	・（まつば公園は）荏田東小学校だから（行かない）
	N	・低学年のときは行ってましたね
	O	・ボールあそびとかは昔と変わってないけど，今の遊具であそんでる人は見ないなあ． ・このまえたまたまぶらぶらしてたけど，景色が違って
	P	・でもあの大きな階段があればね，まつばと言えば，この間もここ通ったとき，懐かしいなって．
	a	・まつば公園とかね，最近あそんでる人いないですよね，平日はあまり人がいない．
	f	・野球だとか，ボール投げみたいなのよくやってますよ，あとかくれんぼかな？（昔から）あまり変わらないね． ・（ゲームやカードゲームであそんでいるこどもは）ここではあまり見ないなあ，ただ，人数はだんだん少なくなってるけどね．

少していることの 2 点を指摘した発言が見られた．

あそびの実態調査において，遊具あそびに関する具体的な説明をしていた住民も，あそびの内容はあまり変わっていないという印象を持っており，遊具あそびをしている様子よりも，ボールあそびなど場所を広く使うあそびの様子の方が印象に残りやすいと考えられる．また，まつば公園の近くから転居した調査対象者 P の発言から，懐かしさを感じる要素として階段が挙げられており，まつば公園において大きな階段が遊具以上に住民にとって印象に残っている要素であると言える．

図 4.1 まつば公園の階段

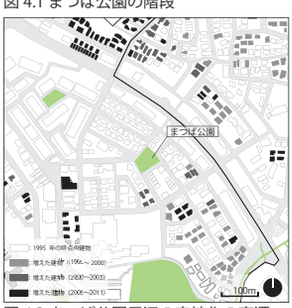

図 4.2 まつば公園周辺の宅地化の変遷

こどもの人数に関して見てみると，調査対象者 N の発言から，つづきの丘小学校ができたことによって，それまではまつば公園であそんでいたこどもがあまりあそびに来なくなってしまったことや，図 4.2 に示すように周りの住宅が 1995 年の時点から大幅には増えておらず，荏田東第一小学校の学区に住んでいる小学生人口も徐々に減っていることが，あそんでいるこどもの数の減少に関わっていると考えられる．

(2) 地区公園・緑道でのあそび

グリーンマトリックスの構成要素である鴨池公園とささぶねの道に着目する．鴨池公園は面積の広い地区公園であり，いくつかの部分によって構成されている．荏田東 3 丁目側には柿の木広場，まんまる広場の二つの広場と，その間に裏山があり，荏田南 1 丁目側には池と裏山がある．けやきが丘住宅，かしの木台ハイツ，しいの木台ハイツの三つの集合住宅，そしてささぶねの道と接している．ささぶねの道は都筑中央公園～鴨池公園～茅ヶ崎公園を結ぶ緑道であり，全域に渡ってせせらぎが整備されている．

表 4.2 鴨池公園でのあそびや発言

所在地		荏田東 3 丁目～荏田南 1 丁目
面積		87,619m²
空間的変化		なし
あそび（小学生）		おにごっこ 野球 サッカー 木登り
あそび（大学生以上）		おにごっこ 野球 探検ごっこ 木の実採集 草つみ 木登り
発言	R	・（裏山の方には）行く必要がなかった．
	S	・うっそうとしすぎてたから，(道から外れて）探検するにはちょっと危ないな． ・わざわざ探さなくても，うっそうとしてて，それだけで（場所全体が秘密基地みたいで）楽しかった．
	c	・広場行くんだけど，まあ一人か二人しか凧揚げしてない，昔はもうみんなして凧揚げしたってのがあるんだけど．

表 4.3 ささぶねの道でのあそびや発言

所在地		荏田東 4 丁目～茅ヶ崎南 2 丁目（学区外）
面積		62,813m²
空間的変化		なし
あそび（小学生）		あそび場として挙げた被験者なし
あそび（大学生以上）		秘密基地作り 昆虫採集 ザリガニ釣り 釣り
発言	M	・マムシ出たから気をつけなさいよって言われてました．じゃあマムシでるならやめよう，みたいな．
	P	・せせらぎでザリガニ釣ってるのとかみると，ああ懐かしいって．
	i	・（緑道が）せっかくのあそび場なんだけど，一人で行っちゃダメよって言わなきゃいけない作り方はちょっとあれかなって． ・大人でも怖いですよね．大人でも結構くらいじゃない？遊歩道って．

図 4.3 まんまる広場

図 4.4 ささぶねの道

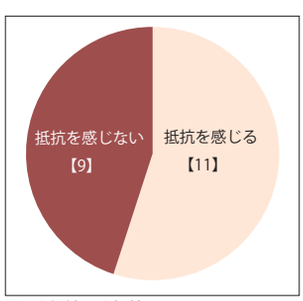

図 4.5 緑地への抵抗

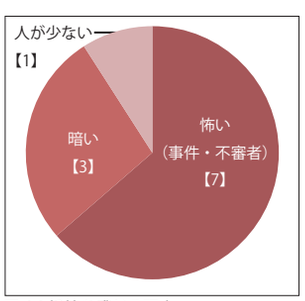

図 4.6 抵抗を感じる理由

(a) あそびの実態に関する考察

鴨池公園及びささぶねの道の緑地であそんでいたと答えた住民は 20 人中 11 人と約半数であった．まんまる広場では野球やサッカーなどの球技，せせらぎでは夏場にザリガニや亀を釣るといったあそびが見られたものの，林や裏山などの緑地であそんでいたのは，草花や昆虫に興味があったり，裏山自体を大きなアジトスペースしてとらえていた 3 名のみであった．仙田は研究の中で，あそばれやすい自然スペースに共通することとして「こども達が安全にあそべるスケール」であることを指摘しており，被験者 S の発言にも見られるように，鴨池公園の裏山はこどもにとってスケールが大きすぎるということが考えられる．

また，図 4.5, 図 4.6 に示すように緑地に対して抵抗を感じている住民が約半数いた．マムシが出るといった情報を学校から教えられていたり，街灯が少なく暗いこと，事件があったことや不審者の目撃情報があることがその理由となっている．このように，豊富な緑地を整備したことは，

表 4.4 集合住宅地でのあそびや発言

団地名	所在地	築年	駐車場	あそび（小学生）	あそび（大学生以上）	ID	発言
アークガーデンひびきの街	荏田東 2 丁目	1995 年	地下		ボールあそび なわとび サッカー 一輪車キックボード おしゃべり ローラーブレード 携帯ゲーム 野球 だるまさんが転んだ	M	あたしたちの頃は、結構絶えず誰かがいて , っていうのがあったんですけど . 最近…いるかなあ？ていう感じ .
						N	大人数で集団ではあそんではいないですね .
みずきが丘住宅	荏田南 5 丁目	1983 年	一部分離	かくれんぼ	砂あそび 草つみ 秘密基地づくり 雪あそび	e	ゲーム機であそんでるこどもはあんまり見ないね .
けやきが丘住宅	荏田東 3 丁目	1983 年	一部分離		おにごっこ		
かしの木台ハイツ	荏田南 1 丁目	1983 年	完全分離		高おに 遊具あそび カードゲーム サッカー 壁当て ドッヂボール フリスビー ヨーヨー	Q	（あそびの内容は）大きくは変わってねえと思うけど , 俺らのときみたいに大人数であそんでるのはあんまり見ない .
グランノア港北の丘	大丸	2001 年	建物沿い	おにごっこ キャッチボール おしゃべり 家族ごっこ		I	木の周りで（ぐるぐるまわって）おにごっこしてる .
藤和ライブタウン	大丸	2000 年	建物沿い		会社ごっこ	T	（マンションの敷地であそんでいる子は自分たちの頃からも）あんま見ないですね .

あそび場を創出するという点では必ずしも効果的ではなかった可能性がある .

(b) あそびの様子が与える印象に関する考察

調査対象者 P の発言にも見られるように , せせらぎでの共通のあそびを見ることが懐かしさを感じさせる要素となっている . また ,「ささぶねの道」という名前はついているものの , 場所の説明をする際にその名称を用いた調査対象者は一人もおらず ,「せせらぎの道」【3 名】「川」【2 名】などと呼んでいた調査対象者がいることからも , せせらぎの印象が強いということが考えられる .

しかし , 場所全体の評価としては調査対象者 i のようにあそび場としては安心感がないといった指摘も見られた . このことから , あそんでいるこども自身のみならず , 親たちにとっても緑地はこどもにあそばせる場所として安心ではないということが言える .

(3) 集合住宅地でのあそび

(a) あそびの実態に関する考察

対象地内には集合住宅地が 9 ヶ所あり , そのうち 6 ヶ所があそび場として挙げられていた . それぞれの住宅地ごとにあそびの内容を比較して見ると , アークガーデンひびきの丘や , かしの木台ハイツでは , 野球やサッカーなど比較的広いスペースを利用するあそびが見られたのに対し , グランノア港北の丘や藤和ライブタウンでは同じボールあそびでも柔らかいボールを使ったキャッチボールやごっこあそびなど , 狭いスペースでもできるあそびが見られた . また , けやきが丘住宅とグランノア港北の丘ではどちらもおにごっこが行われていたが , 前者は住宅の敷地内を広く使ったものであるのに対し , 後者は調査対象者 I の発言に見られるように , 限られたスペースでルールを付加する形で行われていた .

狭いスペースを使ってあそびが行われていた場所に共通していることとして , 駐車場が全て建物に沿って配置されているということが挙げられる . こういった場所では敷地内を車が頻繁に通行するため , 車の通らない , 限られたスペースであそびが行われている , もしくは車の通行を妨げないようなあそびが行われていると考えられる .

図 4.7 アークガーデンひびきの街

図 4.8 グランノアにある三角広場

(b) あそびの様子が与える印象に関する考察

調査対象者 M や調査対象者 Q の発言のように , 住宅地でも街区公園と同様にあそんでいるこどもの人数が減少している , またグループごとの人数が減っていると感じている住民がいた . しかし , 同時にあそびの内容に関しては大きくは変わっていないと感じており , こちらも街区公園と同様の結果であった . 集合住宅地においては , 外壁の塗装などの補修や , プレイロットの遊具の置き換えや撤去は行われているものの , 敷地の構造自体は変化していない . そのため , 街区公園と同様の結果が得られたと考えられる .

6. まとめ

本研究のまとめは以下の通りである .

・街区公園や集合住宅において , 遊具の撤去や置き換えなど , 場所を構成する要素に変化が起きており , それらの要素を用いたあそびもそれに伴って変化している . しかし , あそびの様子を見る人々の全体の印象としてはあそびの内容が変化しているとは感じられておらず , 人々が見たときに印象的なあそびは , 遊具など場所を構成する細かな要素を利用したあそびよりも , 場所の形状 , 階段や駐車場の配置など , 場所の構造そのものに影響されたあそびである .

・緑道や地区公園などグリーンマトリックスの構成要素である場所において , 世代間で共通するあそびを見ることは懐かしさを感じさせる要因となっている . しかし , 裏山や林などの緑地は , 特定の趣味嗜好を持つこどもにとっては印象的なあそび場となっているが , 多くのこどもにとってあそび場としては利用されておらず , こどものあそび場を創出する上で効果的でない可能性がある .

＜参考文献＞
1) 佐竹 俊之・上甫木 昭春：人々が地域の水辺に対して抱く愛着に関する研究 , ランドスケープ研究 70, pp663-668 , 2007
2) 仙田 満：こどものあそび環境 , 鹿島出版会 , 2009
3) 近藤 樹理ほか：多摩ニュータウンにおけるこどもの屋外活動に関する研究 , 日本建築学会計画系論文集 73, pp1251-1258, 2008
4) 横浜市都筑区 HP：http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/
5) ゼンリン住宅地図 横浜市都筑区 1995 年
6) ゼンリン住宅地図 横浜市都筑区 2000 年
7) ゼンリン住宅地図 横浜市都筑区 2005 年
8) ゼンリン住宅地図 横浜市都筑区 2011 年

＜補注＞
1) 小学校の変更は引っ越しによるものではなく , つづきの丘小学校が 1998 年に荏田東第一小学校の分校として開校したため